

令和元年度 千葉県山武地区小中学校事務研究部会 研究記録



○グループ別研修会（年8回）

グループ名	内容
学校事務マニュアル	マニュアル整備
共同実施の研究	市町を超えた共同実施の実現に向けて
情報	事務部会ホームページの管理運営の継続・技術向上
初期層・中期層 C	実務能力を身につけ学校事務職員として必要な創造力を養う
中期層 A	学校徴収金の適切な管理に向けて資料を作成し各学校で提案しよう
中期層 B	業務改善を通して、学校組織を活性化させる
リーダー層	学校経営を支える学校事務職員としての職見と職能の向上を図り、学校・地域で指導力を発揮する

○全体研修会

◆同一研修会（6月）

内容 学校事務における危機管理について

千葉県教育庁教育振興部の方を講師に迎え「学校事務における危機管理」について研修を行った。学校事務職員は危機管理意識の高いキャッチャーの役割を果たすことが大切であることを学び、知識を深めることができた。

◆夏季研修会（8月）

内容 法規・サービスについて

東上総教育事務所管理課管理主事を講師に、法規・サービスについての研修を行った。事前に会員から募った質問に対する回答と解説を受け、さまざまな事例に対して理解を深めた。

◆山武教育研究会（8月）

内容 学校事務職員の行政職としての役割について

東金市内の校長先生を講師に「学校事務職員の行政職としての役割」についての研修を行った。予算要求までのプロセスや、学校での事務職員の役割について学び大変参考になった。

◆同一研修会（11月）

内容 「事務職員の近未来展望について」

教育文化総合研究所専務理事兼事務局長を講師に「事務職員の近未来展望について」の内容で研修を行った。時間外勤務の上限規制や共同学校事務室等、事務職員をとりまく現状について、法的根拠や国の動向をもとに未来を切り開くためにどうしたらよいか、わかりやすくお話を頂いた。

